

## ○スキンケアと予防

スキンケアの重要性を感じ、保健センターで乳幼児の乳児湿疹が出た時にスキンケアができれば、アレルギーになる子どもが減るのでは！と思うようになりました。

2013年…5月より大阪狭山市保健センター、専門医、サークルによる協働事業として「乳幼児スキンケア講習会」を隔月で開始しました。

2019年1月サークルでアレルギー疾患患者家族にアンケートを取りました。結果、アレルギー疾患患者の98.8%が乳児湿疹で悩んでいました(n=80)

大阪狭山市で乳幼児スキンケア講習会を行った結果、サークルへの大阪狭山市の乳児の相談が無くなった。(ただし他市からの相談は持続している)

スキンケアの重要性を理解してもらい、実践的なスキンケア指導、早い時期に専門医へとつなぐことで、母親の相談が減少→肌の悩みだけでなく母としての悩みが減ったのです。

## 乳幼児 スキンケア講習会

赤ちゃんのお肌は・・・

- ★「ほっぺたやお口のまわりが、赤くてかゆそう」
- ★「じゅくじゅくしている」
- ★「関節がカサカサしている」
- ★「離乳食を食べ、肌が赤くなったり痒みが出てきた」
- ★「お薬をぬったらくくなるけど、またすぐ赤くなる」

・・・など、とてもデリケートです

赤ちゃんのお肌にやさしいお手入れ方法があります

要予約



## ○結語

時代が変わっても病院、治療、子育て、環境、未来など先行きが見えない状況への相談が多く解消されていません。治療をするために病院受診していても、食べることがあきらかに変わってきている相談が多く、1人でも多くの相談者が希望を持ち、医療関係者とともに医療に向かう力になりたいと思っています。

治すゴールは「症状を出さない」「アレルギー表示を気にしない」「解除」「卒業」など個人差があります。治すことをあきらめず、多方面の治療、移行期の問題などの見通しが感じられるようになることを患者家族は望んでいるのです。

田野さんは次女が食物アレルギーだったことからアレルギーサークルを立ち上げ、アレルギーで悩む保護者の相談やスキンケア研修会・地域内外で講演会を開催するなど積極的に取り組んでいます。次女が食物アレルギーで日々悩んだ事を紹介し、目標を持つことの大切さや対処法、予防法について紹介されました。予防の第一歩は食物アレルギーの状態を知ることだと話されました。



またこの日は田野さんの次女の体験談もありました。おしゃれや海外旅行など自分のやりたいことや目標を決めて、目標達成のために治療に専念して食物アレルギーを克服できたこと、そして両親への感謝を語り、次は自分が恩返しすることだと話し、参加者の涙を誘いました。



今回は、令和6年7月21日(日)浅口市健康福祉センター2階研修室で開催します。井原第一クリニック副院長 和田知頭先生をお迎えして、「アトピー性皮膚炎の予防・治療に有効なスキンケアをしてみよう」と題して講演と実習をします。事前の申し込みが必要です。多数のご参加お待ちしております。

(浅口医師会 高山晴彦)